

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	笠井 浩（20）	<p>1. 富士川の河川環境調査について</p> <p>ここ数年サクラエビの不漁が続き、その原因として富士川の濁りが指摘されている。</p> <p>静岡新聞社が取材を続け、紙面に詳しく取り上げているが、山梨県内で富士川と合流する早川の支流である雨畑川の濁りが原因ではないかと言われている。</p> <p>富士市内の富士川で長年アユ釣りを楽しんできた、富士川と鮎を愛する会の方は、七、八年前からアユが減り始め、弱って泳ぐ姿を見かけるようになった。三、四年前にはアユの姿はゼロになってしまった。アユを食べにくるカワウの姿も見られない。釣りを楽しみたいが魚がいないと言っている。</p> <p>この件については、日本軽金属出資の採石業者ニッケイ工業による、雨畑川での凝集剤入り汚泥の不法投棄が原因との見方で国交省の指導があり、撤去を始めているということである。</p> <p>また、10月に行われた静岡新聞社のアンケートでは、富士川の河川環境について約65%の人が「悪い」、「非常に悪い」と答えている。</p> <p>富士市として富士市内を流れる富士川の環境について、もっと興味を持つべきだと考え、以下質問する。</p> <p>(1) これは明らかな環境汚染問題だと思うがいかがか。</p> <p>(2) 富士市内の河川が汚染されていると言われていることから、市が真剣に魚種や魚影を調査する等、積極的に取り組むべきだと感じるがいかがか。</p> <p>(3) 雨畑ダムから流れてくるヘドロが河床に積もってアユの餌となるコケが生育しないとされているが、実態を調査すべきだと思うがいかがか。</p> <p>(4) SDGs 未来都市としてこのことをどう捉えるか。</p> <p>(5) 静岡・山梨両県民約50人が参加し、富士川中流の山梨県側の自治体の首長などが顧問となり、「富士川水系環境復元ネットワーク（富士川ネット）」が立ち上がったため、富士市も参加し、流域の自治体と連絡を取り合い、富士川の再生に取り組むべきだと思うがいかがか。</p> <p>2. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備について</p> <p>2020東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルスの感染拡大のため1年延期になり、しっかりおもてなしをしようと楽しみにしていたスイス連邦の水泳チーム、ラトビア共和国の陸上競技チーム、モンゴル国のパワーリフティングチームの事前合宿も延期となった。</p> <p>最近になって新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、どうなることかと心配していたが、11月15日、I O Cのバッハ会長が来日し、菅総理、安倍前総理、小池東京都知事、大会組織委員会の森会長と相次いで会談する中、菅総理は来年のオリンピック・パラリンピック開催に強い意欲を示した。</p> <p>バッハ会長もこれに同調したことから、新型コロナウイルス</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
5	笠井 浩（20）	<p>ス感染拡大防止対策を万全にして来年開催される可能性が見えてきた。</p> <p>富士市としても準備を進めなければならないと思い、以下質問する。</p> <p>(1) 富士市で事前合宿を予定しているチームについて</p> <p>(2) ほかに富士市で事前合宿を希望しているチームがあるか。</p> <p>(3) 東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿に向けた新型コロナウイルス感染防止対策について</p>	市長 及び 担当部長